六ヶ所村立郷土館　主催

企画展　# ろっかしょ縄文1万年の美

～縄文人が愛した土器文様の変遷～

あ　い　さ　つ

六ヶ所村からは、約１万年にわたる「縄文土器」が出土しています。約12,700年前の縄文時代草創期、表舘（1）遺跡出土の「隆起線文土器」から、約2,500年前の縄文時代晩期の上尾駮（1）遺跡C地区出土の「大洞式土器」など、多彩な縄文土器群です。

今回の企画展では、縄文時代の各年代を代表する土器を取り上げ縄文人がこだわった美しい文様の変遷をご紹介いたします。草創期の隆起線文に始まり、前期の貝殻文や刺突文、中期の粘土ひも・押圧文や縄目文様、後期の磨消縄文や晩期の雲形文など、さまざまな文様が土器には施されています。縄文人がこだわった土器文様づくりを体験できるコーナーも設置しました。縄文人が愛した土器文様を実際に施しながら、縄文人の想いを少しでも、「知って、体感して」いただければ幸いです。

最後に、この企画展をとおして、六ヶ所村の魅力を「発掘・発見・発信」につながることを願っております。

隆起線文土器

六ヶ所村立郷土館指定管理者
一般財団法人六ヶ所村文化振興公社
六ヶ所村立郷土館長　鈴 木　浩